

令和6年10月29日

芦屋市企画部市民参画・協働推進課
課長 小川 智瑞子 様

(あしや市民活動センター指定管理者)
特定非営利活動法人あしや NPO センター
事務局長 橋野 浩美

芦屋市公光分庁舎消防避難訓練報告書

- 1 日 時：10月17日（木）10：00～10：30
- 2 担 当：出口
- 3 参加者数：43名
(市民活動センター利用者：33名、市民活動センター職員：6名、
公光分庁舎南館職員：4名)
- 4 内 容
 - (1) 目 的：消防法に基づいた避難訓練の年1回の実施を行い、火災発生時の対応が円滑にできるようにする。
 - (2) 内 容：公光分庁舎北館1階キッチン付近での出火を想定した消防訓練（通報訓練・避難訓練・消火訓練）
 - ・キッチン付近から出火を確認し通報を行う（通報訓練）
 - ・出火場所での初動消火訓練
 - ・北館利用者の避難誘導、避難訓練
 - ・水消火器を使った消火訓練
- 5 参加者の感想
 - ・館内放送があればもっと早く行動できたと思う。消火訓練が体験できてよかった。スモーク訓練等他の訓練もあれば良かったと思う。
 - ・避難誘導に沿って避難したが、誘導通りに避難したのは自団体だけだったが大丈夫なのか？
 - ・避難時に階段がいっぱいになった。足の悪い方など他の方法はあるのか？
- 6 振り返り

芦屋市消防本部立ち合いのもと公光分庁舎合同で避難訓練、消火訓練を行なった。火元が北館のため、南館職員の協力で北館利用者の避難誘導や初期消火等を行なった。

 - (1) 通報訓練について
 - ・非常ベルを作動させ、館内に火災の周知はできたが非常ベルを止める方法の確認ができておらず、停止することに時間がかかった。通報する際に実際の火元

を確認した職員がする方が良いと指導を受けた。通報時に火の高さ、色などで消火方法が変わるため、消防本部に的確な情報を伝えることが必要であると教えていただいた。

(2) 消火訓練について

- ・火元に全館消火器4本を迅速に集め、迅速な初動消火訓練ができた。避難経路の確保（自動ドア解除）を優先することを忘れていた。

(3) 避難誘導について

- ・今回は利用人数が多かったため避難に時間がかかった。北館職員の誘導が2カ所避難を呼びかけたが1カ所に集中してしまったことが原因と考えられる。メガフォンのようなもので呼びかけることを検討する。
- ・歩行困難な方は1階に下りず火元より遠い場所（今回であれば2階エレベーター前等）に待機し消防隊員へ引継ぎ救出をお願いする訓練なども必要であった。

(4) 水消火器を使った消火訓練について

- ・消防隊員の指導の下で、施設利用者及び職員が消火訓練を行った。

(5) その他

- ・問題点として火災報知器の非常ベルの解除停止ができなかった。早急に確認が必要である。
- ・セコムへの訓練報告を事前にするのを忘れていた。

(6) 次回の訓練について

- ・火災報知機の解除の方法を共有する。
- ・南館職員とのシミュレーション、共有が重要である。

以上

訓練風景

